

1月25日：幅広い売りから主要指数は下落

市場心理の悪化と利益確定売りを受け、ホーチミン市場のVN指数は下落し、終値1,166.05ポイントで引けた。

236銘柄が上昇、219銘柄が下落し、同指数は0.06%（0.73ポイント）安だった。

売買高は前日比で6.8%減少し7億720万株、売買代金は前日比で1.5%減少した15兆8,000億ドンだった。売買高で4,150万株、売買代金で1兆1,000億ドンがブロック取引で成立した。

VN30指数の採用銘柄では、多く大型株が値下がりか、変わらずで引けた。

銀行株は最も売られ、ベトインバンク（CTG）、エクシムバンク（EIB）、サコムバンク（STB）が2~3%下落し、マーケットの重しとなった。

幅広い銘柄に売りが広がったにもかかわらず、ホアファットグループ（HPG）が売買高で約330万株と著しい取引になった一方で、マッサングループ（MSN）、フーニュアン・ジュエリー（PNJ）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）が大きく買われ、大幅な下落からVN指数を下支えした。

ホアビン建設グループ（HBC）、ダットサイングループ（DXG）、キンバックシティー（KBC）、ビグラセラ（VGC）、サオマイグループ（ASM）、FLCファロス建設（ROS）といった多くの不動産、建設株がストップ高をつけた。

ハノイ市場では、多くの優良株が振るわず、HNX指数は3.45%（8.27ポイント）安の終値231.84ポイントだった。売買高は1億5,150万株、売買代金は2兆1,000億円だった。

サイゴンハノイ銀行（SHB）は売買高で2,400万株以上が取引されたが、最終的に4%下落した。

サイゴンハノイ証券（SHS）、バオベト証券（BVS）、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）といった他の優良株はマイナス圏で引けた。

その一方で、TNG 貿易投資 (TNG)、フーティン・ニャーベー縫製 (NPS)、ダムサン (ADS)、ビンタイン商事 (GIL) など多くの繊維株が下落基調に抗い、引けにストップ高を付けた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。